

1. 植栽管理計画の目的

岡崎公園は市指定史跡「岡崎城跡」に指定され、徳川家康が誕生した城であり岡崎市の象徴となっている。また、都市中心部での緑地・市民の憩いの場、観光地として、多くの来訪者や市民に親しまれている。

岡崎市では史跡としての本質的価値を顕在化するため、「岡崎城跡整備基本計画」(平成28年度改訂版)を策定した。また、その基本計画を踏まえて、「岡崎公園 植栽管理計画基本方針報告書」(平成30年度)を策定した。

本計画は、石垣などの遺構の保全に努め、城跡としての本質的価値を高めると同時に、岡崎城への眺望を確保し歴史的景観を保全するために、基本計画等を踏まえ、曲輪内を植栽の特徴や機能別にさらに細分化して植栽管理計画を作成するものである。

2. 計画対象区域

本計画は、岡崎公園の市史跡指定地 98,908 m²を対象とする。また、各曲輪の位置は次図の通りである。



岡崎公園 全体図